



# 新年のごあいさつ



蒲郡市長  
稲葉正吉

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

市長として4年目となる本年も、私の考える蒲郡市の進むべき大きな目標である「活気のある蒲郡」「元気のある蒲郡」を目指し、引き続きフットワーク良く、スピード感を持ち、現場主義で精いっぱい取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、地球温暖化による影響とみられる全国各地で発生したゲリラ豪雨、戦後最多の犠牲者を出した御岳山噴火など、自然災害の予知の難しさをあらためて認識した一年ではなかったかと思えます。

今年は、私が掲げる施策の一つであります「働く場の確保・産業の振興」について、新しく立地を希望する企業や、既存企業の増設・移転のニーズの把握などの情報収集を広域的に行い、新規工業用地開発の実現に向けて諸課題の解決を図る一方、市内の遊休地への企業誘致もあわせて進めてまいります。

また、新産業の創出といたしまして、昨年策定した蒲郡市ヘルスケア計画に基づき、ラグーナ蒲郡未利用地の開発に係る基本計画を策定し、「健康・長寿のまちづくり」「ヘルスケア産業の集積」に取り組んでまいります。

都市基盤整備の面については、地域産業の発展と都市機能の充実が、市民生活の利便性向上などにおいて最重要課題だと考えております。現在、着々と整備が進んでおります、国道23号蒲郡バイパス東部区間および国道247号中央バイパスの早期完成を目指し、国・県に積極的に要望するとともに、用地取得、道路整備などできる限り協力してまいります。

さらに、一昨年より取り組んでおります健康づくり事業を充実させ、市民の皆さまが、いきいきと健康でお過ごしいただけるような施策を進めてまいります。

最後になりますが、市民の皆さまには、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。